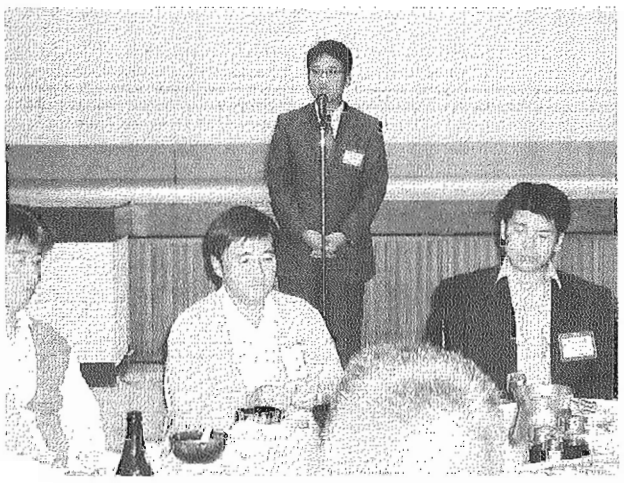
情報交換で親睦深める

県建設業青年部会 出水等4支部交流会

県建設業青年部会の出水支部（井之上祐一支部長）、川内支部（里城信一支部長）、宮之城支部（久保勝行支部長）、大口支部（瓜生島正二支部長）は11日、出水市のホテルキングで第1回4支部交流会を開き、49人の参加者は初の交流に戸惑いながらも大いに親睦を深めた。



大いに交流と親睦を深めて――と挨拶する井之上支部長＝出水市のホテルキングで

もある井之上支部長が「本部事業で役員らが顔を会わすことはあるが、隣接している支部間の交流が必要なのでは、との要望を受けて旗振り役を引き受けた手前、出水で交流と親睦を深め、出水の夜も楽しみ、末永い交流会になることを祈念します」と挨拶。久保支部長の発声で乾杯して懇親会に入り、各支部入り混じってのテーブルでは名刺交換に始まり当初、静かだった雰囲気も酒を酌み交すうち、各支部管内の情報交換など数々の話題で盛り上がり大いに交流・親睦を深めていた。

ゴルフ大会も 江川野さんが優勝

また同日は、交流会に先立って出水ゴルフクラブで39人が参加して親睦ゴルフ大会が開かれ、絶好のゴルフ日和の下、和気あいあいとした中にも白熱したプレーを繰り広げていただいた。大いに交流と親睦を深め、出水の夜も楽しみ、末永い交流会になることを祈念します」と挨拶。久保支部長の発声で乾杯して懇親会に入り、各支部入り混じってのテーブルでは名刺交換に始まり当初、静かだった雰囲気も酒を酌み交すうち、各支部管内の情報交換など数々の話題で盛り上がり大いに交流・親睦を深めていた。

ディにも恵まれた江川野淳二さん（出水支部）が優勝した。

ゴルフ大会の主な成績は次の通り。

優勝＝江川野淳二▽準優勝（宮之城支部）▽3位＝松田裕二（宮之城支部）▽4位＝福永慎二郎（大口支部）▽5位＝川畑康昭（宮之城支部）▽ベストグロス81＝松元一洋（川内支部）

自由に健康で暮らせる空間提供

熟年共生住宅が完成

有園・仁梅会

有川義信社長

㈱有園（有川義信社長、本社・日置郡吹上町）と医療法人仁梅会・山之内クリニック（山之内梅節医院長）が、熟年者に自由に健康で暮らせる空間を提供することを目的に建設を進めていた熟年共生住宅第1号棟がこのほど、吹上町湯之浦地区に完成した。今までにない全く新しいタイプの住宅に連日、町内外から見学者が現地に訪れるなど注目を集めている。

施設は、自然に恵まれた環境のもとで、高齢者の自立心を尊重し、自由なスペースで健康的な老後を過ごしてもらいながら、地域との交流も深めてもらえる居住空間を創り出すことを目的に、有川社長と山之内医院長が数年前から各地への視察や、さまざまな研究を企画の段階から一緒に取り組んできた。

建物は、W造平屋建て516・25平方㍍。居住世帯数は、管理人が常にフォローできる状態を確保するために、8世帯（現在、3世帯の入居が契約済）が用意されている。正面玄関部には、共用設備として入居者と来訪者らが集えるふれあいホールが設けられているほか、緊急を要する場合でも、近隣の医療施設との連絡体制が24時間整えられている。自立を基本コンセプトとしているが、不自由な高齢者に対しては食事、入浴、その他相談事に関するサービスも完備されているほか、敷地内の余剰スペースには畑があり、希望者には花作りや菜園などの栽培に要するスペースが提供されている。更に、近隣には温泉や大型スーパーなどもあるなど、さまざまな角度から高齢入居者の「自立」をサポートできる体制が整っており、現在、県内外の福祉・医療機関からも、問い合わせがあるなど関心が高まっている。

施工を担当した有川社長は「社会の高齢化が進む中、いかにして熟年者の自立心を尊重しながら、サポートできる態勢を整えていけるかが大きな問題だった。山之内医院長をはじめ関係者らの協力があって、ようやくここまでこぎ着けることができた。これを機会に、熟年者住宅のモデルとなれるよう取り組んでいきたい」と抱負を語った。

新たなビジネススタイルへ

吹上町に完成した熟年共生住宅

県造園建設業協会 ボウリング大会

団体 山内農園が見事優勝

県造園建設業協会（丸山重之会長）は11日、鹿児島市のベイサイドガーデン国際ボウルで毎年恒例のボウリング大会を開き、熱戦を繰り広げた結果、団体は㈱山内農園チーム、個人では男性の部で横瀬博文さん（有）横瀬造園土木）、女性の部で帯田眞須美さん（㈱長島植物園）が見事優勝した。

この日は、会員や家族ら39チーム、約160人が参加。競技方法は1人2ゲームとし、4人1組の合計得点で争われた。ゲーム中は日頃の成果を発揮して、ストライクやスペアを連発する人や、ガーターや珍プレーなどを連発して場内を沸かす人など、終始和気あいあいとした雰囲気の中、会場内は歓声や笑い声で盛り上がった。

また、大会終了後は労働安全講習会も開かれたほか、食事会での表彰式では準備された多くの賞品を手に入賞者は大喜びしていた。

主な成績は次の通り。

【団体の部】優勝＝㈱山内農園▽準優勝＝（有）横瀬造園土木C▽3位＝鹿

トロフィーを受け取る個人・男子優勝の横瀬さん（右）＝鹿児島市のベイサイドガーデン国際ボウル

【個人の部・男子】優勝＝横瀬博文▽準優勝＝東伸也（有）横瀬造園土木）▽3位＝枝元常夫（鹿児

【同・女子】優勝＝帯田眞須美▽準優勝＝井料由美▽3位＝西直美（有）西緑地建設）

県、農業災害発生状況（9月末現在）

被害総額は34・7億円

県はこのほど、15年の農業災害発生状況（9月末現在）を明らかにした。集中豪雨や台風等による被害総額は34億7000万円、うち農作物等被害が18億8800万円、耕地関係被害が15億8200万円となっている。

このうち、被害額がもっとも大きかったのが台風10号（8月7～8日）で、被害額は18億3000万円。内訳は、大島、熊毛地域等でさとうきびやオクラ等の農作物等の被害額が16億1200万円。農地、農業用施設に係る被害額は2億1800万円となり、激甚災害として指定され、9月30日に閣議決定、3日に交付される予定。

また、7月19～21日に菱刈町を中心とした集中豪雨害の被害額は7億500万円。大口、川内地域等で水稲や根深ねぎ等の農作物等の被害額が4700万円。農地、農業用施設に係る被害額6億5800万円も同じく、激甚災害として指定され、9月2日に閣議決定、同5日に交付されている。

あす、歩道点検等

鹿児島国道

鹿児島国道事務所は16日午後3時から、鹿児島市の国道225号谷山地区で地域住民等との合同による歩道点検、不法看板等の撤去を行う。

点検場所は、鹿児島市の国道225号谷山地区（松崎交差点から谷山駅交差点の約1・2㎞）。

技能五輪全国大会参加選手団激励会

17日に県庁で

県は17日午前10時から、鹿児島市の県庁で「第41回技能五輪全国大会参加選手団激励会」を開く。同日は選手団の紹介、シンボルマーク旗や激励金の授与、激励のことば、万歳三唱等で激励する。

大会は24日から27日までの4日間、新潟市の朱鷺メッセほか6会場で行われる。選手団は、森山清隆県職業能力開発協会副会長が団長を務め、西迫修治さん（宮之城高等技術専門校）ら5人が出場する。

労働安全講習会も

事業主ら意識高揚を

なお、大会終了後に労働安全講習会も行われた。九州緑地開発㈱の中島朗氏が講師を務め、安全管理の必要性を呼びかけたほか、会員一丸となって安全で快適な職場づくりにまい進することを誓い合った。

当日は、黄色の安全旗を各社に配布し、事故が発生しないように各現場に掲げようと呼び掛けた。中島氏は「労働災害を未然に防ぐために、事業主・現場管理者の意識の高揚と、安全管理に対するさらなる徹底・教育を」と、安全管理の必要性を訴えた。